

令和5年 火災・救急・救助の概要

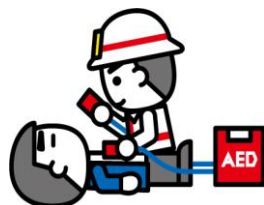
消防本部予防課予防G (☎ 0595-82-9492)

消防本部消防総務課消防救急G (☎ 0595-82-9496)

火災 21 件

救急 2,557 件

救助 26 件



1 火災の概要 【消防本部予防課予防グループ】

令和5年中の火災件数は21件で、前年に比べて3件減少しました。項目別ではその他火災が10件と最も多く、前年に比べて4件増加しています。また、建物火災が9件発生していますが、全て工場や倉庫等から出火したもので、住宅火災は発生していません。

火災による死者の発生はありませんでしたが、負傷者は2人発生しています（建物火災1名、車両火災1名）。

項 目		令和4年	令和5年	前年比
火災件数	建物火災	11	9	-2
	林野火災	1	0	-1
	車両火災	6	2	-4
	その他火災	6	10	+4
	合 計	24	21	-3
死傷者	死者(人)	0	0	±0
	負傷者(人)	9	2	-7

※その他火災とは、建物、林野、車両に該当しない火災です。（例：空地の枯草や田畑の火災など）

2 救急の概要 【消防本部消防総務課消防救急グループ】

※各項目の令和5年の数値は、速報値となります。

・事故種別出動件数、搬送人員（表1）

令和5年中の出動件数は2,557件、搬送人員は2,382人で、前年と比べて出動件数は132件、搬送人員は93人増加しました。

1日の平均出動件数は7件で、平均搬送人員は6.5人となっています。

事故種別では、急病によるものが最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順となっています。

（表1）

事故種別		年 別		前年比
		令和4年	令和5年	
火 災	出動件数	10	6	-4
	搬送人員	5	1	-4
自然災害	出動件数	0	0	±0
	搬送人員	0	0	±0
水 難	出動件数	0	1	+1
	搬送人員	0	0	±0
交通事故	出動件数	170	199	+29
	搬送人員	173	189	+16
労働災害	出動件数	33	39	+6
	搬送人員	33	38	+5
運動競技	出動件数	2	3	+1
	搬送人員	2	3	+1
一般負傷	出動件数	397	436	+39
	搬送人員	382	414	+32
加 害	出動件数	3	1	-2
	搬送人員	3	1	-2
自損行為	出動件数	16	17	+1
	搬送人員	14	12	-2
急 病	出動件数	1,705	1,747	+42
	搬送人員	1,588	1,617	+29
その他	出動件数	89	108	+19
	搬送人員	89	107	+18
合 計	出動件数	2,425	2,557	+132
	搬送人員	2,289	2,382	+93

・被搬送者の傷病程度別比率（表 2）

令和 5 年中の被搬送者 2,382 人における傷病程度の比率は、軽症が 1,263 人で 53.0%、中等症が 935 人で 39.3%、重症が 128 人で 5.4%、死亡・その他が 56 人で 2.4%となっています。

（表 2）

傷病程度		年 別	令和 4 年	令和 5 年
軽 症	搬送人員		1,212	1,263
	比 率		52.9%	53.0%
中等症	搬送人員		883	935
	比 率		38.6%	39.3%
重 症	搬送人員		141	128
	比 率		6.2%	5.4%
死亡・その他	搬送人員		53	56
	比 率		2.3%	2.4%
合 計	搬送人員		2,289	2,382

※ 軽 症：入院を必要としないもの
 中等症：入院を必要とするもので、重症に至らないもの
 重 症：三週間以上の入院加療を必要とするもの
 死 亡：初診時において死亡が確認されたもの
 その他：医師の診断がないものなど

・被搬送者の年齢区分別比率（表 3）

令和 5 年中の被搬送者における年齢区分別比率は、高齢者が 1,439 人で 60.4%、成人が 716 人で 30.1%、少年が 99 人で 4.2%、乳幼児が 128 人で 5.4%、新生児が 0 人で 0%となっています。

（表 3）

年齢区分		年 別	令和 4 年	令和 5 年
高齢者 65 歳以上の者	搬送人員		1,396	1,439
	比 率		61.0%	60.4%
成 人 18 歳以上 65 歳未満の者	搬送人員		697	716
	比 率		30.5%	30.1%
少 年 7 歳以上 18 歳未満の者	搬送人員		85	99
	比 率		3.7%	4.2%
乳幼児 生後 28 日以上 7 歳未満の者	搬送人員		111	128
	比 率		4.8%	5.4%
新生児 生後 28 日未満の者	搬送人員		0	0
	比 率		0%	0%
合 計	搬送人員		2,289	2,382

・医療機関への市別搬送比率（表 4）

令和 5 年中の市別医療機関における搬送比率は、市内医療機関への収容率が 34.5%で、市外医療機関への搬送が 65.5%となっています。

（表 4）

市 別		年 別		令和 4 年	令和 5 年
亀山市	搬送人員			754	822
	比 率			32.9%	34.5%
鈴鹿市	搬送人員			1,258	1,265
	比 率			55.0%	53.1%
津 市	搬送人員			117	149
	比 率			5.1%	6.3%
四日市市	搬送人員			147	134
	比 率			6.4%	5.6%
その他	搬送人員			13	12
	比 率			0.6%	0.5%
合 計	搬送人員			2,289	2,382

・現場到着・病院収容までの平均所要時間（表 5）

令和 5 年中の現場到着までの平均所要時間は、9.1 分で前年と比べて 0.3 分短縮しました。病院収容までの平均所要時間は、42.2 分で前年と比べて 1.3 分短縮しました。

（表 5）

所要時間	年 別		前年比
	令和 4 年	令和 5 年	
現場到着（分）	9.4	9.1	-0.3
病院収容（分）	43.5	42.2	-1.3

■救急車の適正利用と救急医療情報システムの利用

救急車の適正利用については、広報「かめやま」や救急講習会などを通じて、市民の理解と協力をお願いしていますが、依然として明らかに軽症と思われる方、タクシー代わりの出動要請など緊急性の低い事例がみられます。

救急車を呼ぶほどではないが、すぐに受診を希望される場合は、下記の「救急医療情報システム」を利用してください。

《救急医療情報システム》

パソコン **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>

携帯電話 **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>

自動案内 ☎0800-100-1199（通話料無料・ファックスでも受信可能）

医療情報センター（対人案内） ☎059-229-1199

※受診の際は、必ず紹介された医療機関に事前確認してください。

※救急車を呼ぶべき症状について詳しくは、市消防本部のホームページをご覧ください。

（**URL** <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/index.html>）

3 救助の概要 【消防本部消防総務課消防救急グループ】

令和5年中の救助件数は26件で、前年に比べて2件増加しました。交通事故に伴う救助出動が最多となっています。

災害はいつ起こるか分かりません。日頃から災害に対して備えましょう。

救助の概要		令和4年	令和5年	前年比
事故種別件数	交通事故	13	12	-1
	水難事故	0	2	+2
	建物等による事故	6	8	+2
	風水害等 自然災害事故	0	0	±0
	機械による事故	1	1	±0
	その他の事故	4	3	-1
	合計	24	26	+2

※その他の事故とは、交通事故、水難事故などに該当しない事故です。

■災害情報案内の利用

火災などの災害情報を自動音声案内や市消防本部ホームページ（軽易なものは除く）に掲載していますので、ご活用ください。

《自動音声案内》

☎82-9555

《市消防本部ホームページ》

URL <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/>